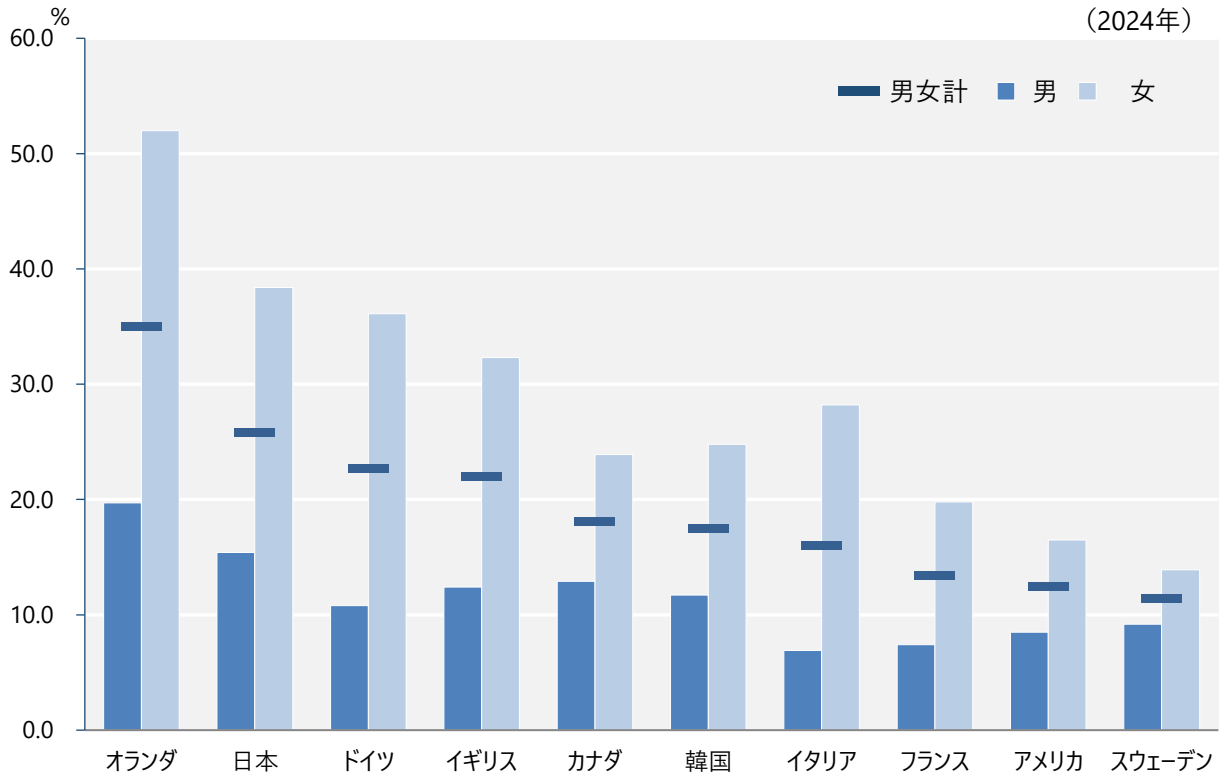


3-5 就業者に占める短時間労働者の割合



🔗 関連表 p.129 「第 3-8 表 就業者に占める短時間労働者の割合」

(注) アメリカは雇用者が対象。

上のグラフは、通常の労働時間が週30時間未満の労働者を「短時間労働者」と定義し、就業者全体に占める割合（2024年）を各国別・男女別に示したものである。ただし、国際比較にあたっては、短時間労働者の待遇の違いなど制度面に注意する必要がある。

短時間労働者の割合が最も高いのはオランダ（35.0%）となっている。日本は25.8%、ドイツは22.7%、イギリスは22.0%などとなっている。男女別で見ると、いずれの国でも、男性より女性における割合が高くなっている。女性における割合が最も高いのはオランダ（52.0%）である。日本は38.4%、ドイツは36.1%、イギリスは32.3%などとなっている。男性についてみると、オランダ（19.7%）が最も高く、日本は15.4%、カナダは12.9%、イギリスは12.4%などとなっている。